

特定非営利活動法人 ala クルーズ

平成 26 年度 通常総会

特定非営利活動法人alaクルーズの平成26年度通常総会が、5月18日(日)午前11時よりワークショップルーム洋室にて開催されました。来賓として、衛館長、新着任の山本局長、同じく杉下課長、坂崎氏、にご出席いただきました。高相理事により開会の言葉が発せられ、初めに澤野理事長が25年度の活動に対する労いの言葉とともに、「我々のような団体はいくつもあるが、運営資金の問題を抱えている団体が多い中で、我々alaクルーズは恵まれていると思う。来年は世界劇場会議国際フォーラム2015がアールで開催されるので、我々もボランティアで参加させていただき、学びながらも“アールにクルーズあり”といわれるようにしたい」と挨拶されました。次に総会定足数の報告があり、正会員50名のうち総会出席数22名、委任状22名、合計44名で定款27条の規定により総会の成立が宣せられました。選出により奥田氏が議長に指名され議事に入りました。第1号議案の平成25年度事業報告を久米副理事長が、収支決算報告が篠田理事よりなされ、監事より、当事業報告書並びに収支決算書の内容が適正かつ正確であった旨の報告がなされました。続いて第2号議案の組織役員変更(案)、第3号議案の平成26年度事業計画(案)並びに事業予算(案)が提出され、両議案とも全会一致の拍手を持って承認されました。第4号議案はNPO法の改正に伴い、NPO法人alaクルーズ定款の一部を変更することとなり詳細が読み上げられ、全会一致を持って承認されました。続いて来賓の紹介があり、代表として衛館長が「組織として運営していくには継続が大事。力を合わせて頑張ってもらいたい。アールとしては女性幹部職員が多くなっている中、我がホールにも何人かそういう人を育てていきたい。世界劇場国際フォーラム2015がアールで開催されるので、海外のボランティア活動をしている方たちと提携をして国際化に目を向けて行きたい」とのお言葉をいただきました。総会はつつがなく終了し、その後創造スタッフルームにて来賓の方も交え交流会が行われました。



会場・受付の様子



3

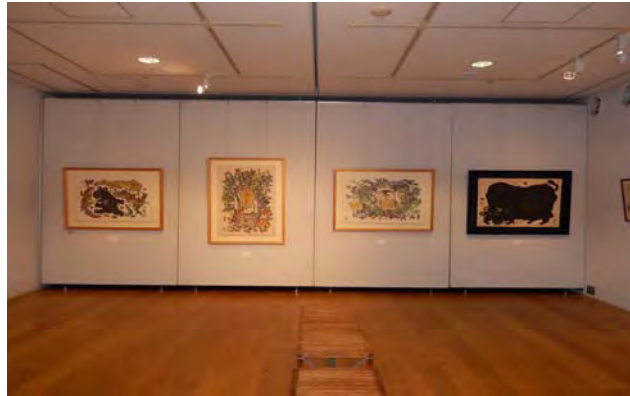
3A

4

お気づきですか？ フロントスタッフの制服が新しくなりました



水野政雄 アート展



市民の皆さんに、紙コップや色紙など身近な材料を使って、飾ったり遊んだりする“もの”創りに参加していただき、創作活動を楽しんでいただける機会を提供する事業として、郡上八幡市在住で造形作家の水野政雄氏を講師にお迎えし、今回で5回目となるアート展とワークショップを開催しました。8月23日(土)～31日(日)までalaギャラリーで開催し、昭和の楽しさと懐かしさ、ノスタルジックな世界を描いた数々の作品を25点余り展示しました。金魚売りやチンドン屋、今では見ることのできない紙芝居など懐かしい風景が思い出とともに蘇ってくるようで心を癒してくれました。また、郡上おどりのポスターも6点展示され開催期間中約1000人の方々が楽しめました。



ここでもいい？
もう少し右かな
曲がってない？



水野政雄 紙工作ワークショップ

8月24日(日)美術ロフトに於いて水野政雄氏の紙工作ワークショップが開催

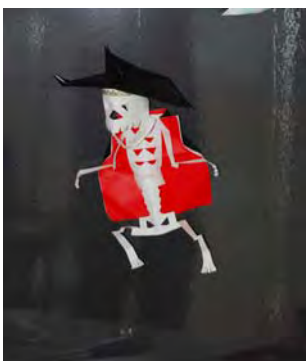


されました。ワークショップは各時間帯別に3グループに分けて行われました。参加者は92名で、親子での参加が大部分で



したが、高齢の方の車椅子での参加もありました。11時から始まり、まず最初に取り組んだのは尺取虫。作り方は簡単で、細長く切った半紙(20×3cm位)を緩く半円形にカーブさせ、両端の1cm位に折り目をつけ、その一方に目玉を描き入れ、テーブルに立たせてやると尺取虫の出来上がりです。尺取虫の丸い背の後方をストローで軽く吹いてやると、尺取虫さながらに尺を取って歩み

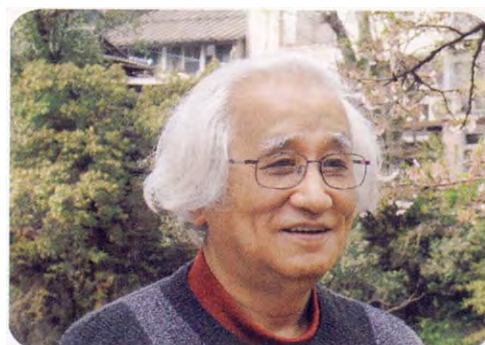
始めるのですが、吹きかける息の強さや位置・角度がずれると動いてくれない。この単純な造形を尺取虫みたいに歩ませる、絶妙なバランス感覚に参加者の皆さんは奮闘していました。つぎに作ったのは紙コップの宇宙人。紙コップの側面へのハサミの入れ方でソウなどの動物バージョンも作れます。3番目は風車。紙コップ・竹ひご・折り紙・よま・ストローなどを使って作り、幼い子どもたちには少し難しかったけど、alaクルーズスタッフのサポートもあり、完成した風車をブンブン振り回して満足そうでした。最後の作品はゴム鉄砲です。紙コップと割り箸で簡単に作って遊べるおもちゃで、出来上がった後に皆さんで“的当て”をして遊びました。長机に並んだ的に近づいたり離れたたり、鉄砲の威力を高めるために輪ゴムを二重、三重に増やしたり、輪ゴムの持ち手を変えてみたり、子どもたちの工夫はつきません。輪ゴムを増やしすぎて自分の手を弾いてしまって、苦笑している子もいました。参加された方々からは、「近くの老人保健施設から来ました。今日は孫が遊びに来るので、作ったおもちゃをプレゼントしたい」「早速、園の子どもたちに教えてあげたい」「普段はなかなか作れない、楽しいおもちゃが出来ました。夏休みの良い思い出になりました」など、嬉しい言葉が返ってきました。



水野政雄氏略歴

- 1938年 岐阜県郡上市八幡町に生まれる。
- 1961年 多摩美術大学油絵科 卒業。
- 1968年 岐阜県立郡上高校、郡上北高校の美術講師となる。
- 1971年 ヴィーナス画廊(名古屋市)で初個展。
- 1978年 NHKテレビ「切り紙の夢」に出演。

- 2010年 名都美術館(愛知県)で企画展。
- 2011年 郡上かるた 原画制作。
- 2012年 上野の森美術館 無鑑査出品。





夏の交流会

8月16日(土)午後7時より全体会議が行われ、会議終了後花火を見ながら交流会のはずが、今年は天候が悪くて花火が中止となってしまいました。それでも会員がお菓子などを持ち寄り話に



花が咲きいつもとは違う交流会が行われました。「こんな交流会もいいよね」との声もありましたが、来年はぜひ花火を見ながらの交流会がしたいな…

イルミネーション製作開始

今年のテーマ“光の庭”製作開始



平成26年12月6日から
翌年2月14日まで

どんな庭が
できるかな？
楽しみです！



今年の製作の様子

26年度事業 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 視察研修

他施設への視察研修事業の企画・実施。日ごろの活動や運営方法などを確認すると共に見識を広めるため、他施設を視察しそこで活動するボランティアの人たちなどと情報交換や交流などを行い、クルーズの環境や状況などについて検証する機会にします。この視察研修を通じボランティアのネットワークを構築していくつもりです。

研修先 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール
平成26年10月12日(日) 午前6時30分出発 午後7時着



滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール

alaクルーズフロントスタッフ研修

活動がマンネリ化し惰性にならないよう、外部より講師を招きボランティア活動に必要な、情報や手法などを習得、自己成長を促す機会とし、また、今年度アークで開催される世界劇場会議に積極的に参加できるよう支援します。

平成26年11月16日(日) 午前 座学 午後 主劇場での研修

編集後記

何の気なしに昔のalaクルーズ広報紙を見ていました。すると9年前の平成17年の広報紙第12号に目がとまりました。2頁目を開くと、そこには『篠田監督をお迎えして』と題してインタビューが掲載。トップ頁ではないところが味噌で…。知る人ぞ知るお宝貝! さて、篠田正浩映画監督は最近本を出版なされました。『アイドルはどこから』若山滋氏との共著(現代書館)。以前から研究をされている演劇史他を対談形式でまとめられた本です。そこにはインタビューで少し聞かせていただいた話が更に詳細に語られている箇所もあり、「天からのお手紙」のような気持ちで読ませていただきました* 生涯現役人生をおくられている監督にエールを!(H)

alaクルーズ事務局 TEL/FAX : 0574-61-3414
<http://www.kpac.or.jp/ala-crews/>
Mail : ala-crews@kpac.or.jp



読書の秋